

2022 年度支部活動【四国支部】開催報告
「日本語教育学会 2022 年度春季大会参加報告会」

主催：公益社団法人日本語教育学会
共催：愛媛大学国際連携推進機構国際教育支援センター
開催日：2022 年 6 月 12 日（日）13：30-15：00
会場：オンライン
参加人数：25 名（会員 11 名・一般 14 名）

この報告会は「日本語教育学会 支部活動」の応募企画として、2017 年から開催しています。目的は、学会参加の機会のない愛媛県内を中心とする四国地域の日本語教育関係者に学会の情報を提供することです。今回も過年度に引き続き、オンラインで開催しました。当日の参加者は 25 名で、内訳は、愛媛県を中心とした、四国内の日本語教師、大学院生、日本語ボランティア、日本語ボランティア団体関係者、民間の日本語教員養成講座受講生と多岐にわたっていました。

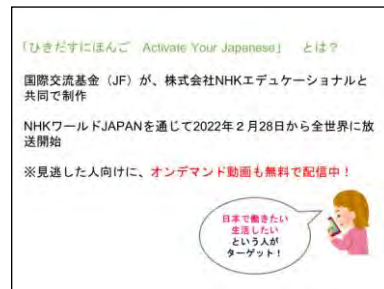
今回の報告会は、「報告を全て聞きたい」「もっと意見交換できる時間がほしい」という過年度のアンケートでの要望を踏まえ、まず参加者を 3 つの小グループに分け各ブレイクアウトルーム（以下 BOR）に移動。そこに今回の報告者 3 名が入室し、前半 10 分で報告・後半 10 分で意見交換を 1 セッションとし、20 分経過すると報告者が BOR を移動するという形式で実施しました。3 件の報告終了後、参加者は、自分が興味をもった報告者の BOR に入室し意見交換を深めたり、フリートークルームで四国内の情報交換をしたりなどして、最後まで活発な話し合いが行われていました。報告会後のアンケートやメールでは、「四国でも他地域で活躍されている日本語教育関係の先生方との交流機会があり、大変嬉しく思いました。」等、BOR 内での交流に対する肯定的な意見が見受けられました。また、「報告で聞いた文化庁委託「研修事業（初任・児童生徒／中堅）」に申し込もうと思いました。」という方もいらっしゃいました。一方で、「事前に報告事項が分かっていたらもっと深い意見交換ができたのでは」「事前にグループ内での自己紹介などあれば、報告後の意見交換の場で話しやすくなったのではないか」といった今後の報告会運営に対する示唆に富んだ要望もありました。なお、この支部活動は、愛媛大学国際連携推進機構国際教育支援センターと共催で行われました。

今回の報告会も大きな支障もなく無事に終わることができました。この場を借りて、本支部活動にご参加くださった皆様、そして、応募企画である本支部活動開催のために、事前の広報にご協力くださいました四国支部の支部活動運営協力員である山下直子さん(香川大学)、林翠芳さん(高知大学)をはじめとする関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

（報告者：四国支部活動委員 高橋志野）



実際の学会のウェブサイトも使って説明しました



「ひきだす日本語」の情報を初めて聞いた方も多かったです